

令和 7 年度
田野畑村教育基本計画

《 目 次 》

1 教育の目指すべき将来像	1P
2 教育施策の方向	2P
3 教育施策の基本計画	3～ 4P
4 令和 7 年度 学校教育の具体的施策	5～12P
5 令和 7 年度 社会教育の具体的施策	13～20P

令和 7 年 3 月
田野畑村教育委員会

1 教育の目指すべき将来像

「ふるさとに愛着を抱き 人間性豊かな人材を育てる」

小中連携により「子どもは地域の宝」としての特性を生かした地域活動の中で社会性をはぐくむとともに、地域との連携により産業や福祉、地域コミュニティ、スポーツ、文化、芸能など多様な社会活動を支え、国際化と情報化が進む中でもふるさとに誇りと愛着をもった人間性豊かな人材を育成するむらづくりを進める。

2 教育施策の方向

(1)教育 …… 進んで学び、心豊かでたくましい子どもを育成する。

①家庭教育・就学前教育 …… 家庭教育に関する保護者の研修機会を充実する。

②学校教育 …………… 幼小中連携及び地域と一体となった教育の推進を図る。

(2)青少年の健全育成 …… 心身共に健全で心豊かな青少年を育成する。

①青少年の健全育成 …………… 社会性をはぐくむ体験的な活動を充実させる。

(3)生涯学習・スポーツ活動 …… 生涯学習推進計画を推進し、多様な人材を育成する。

①生涯学習 …………… 村民ニーズに対応した生涯学習活動を支援する。

②スポーツ活動 …………… 生涯スポーツを推進し、健康の維持増進を図る。

(4)芸術・文化 …… 貴重な文化財や郷土芸能の保存・継承を推進する。

①芸術・文化 …………… 芸術・文化に親しめる機会を提供する。

3 教育施策の実施計画

領域	分野	施策の方向	事業名	事業主体	実施主体	年度	指標と目標
(1) 教育	① 家庭教育・就学前教育	家庭教育に関する保護者の研修機会を充実する	家庭教育学級の開催 幼児期・児童期・生徒期に応じた保護者対象講座等開催支援	教委	幼・小・中／教委	4～7	関係校種の講座開催 6回／年
			幼小連携による就学前教育と保育・学習の充実 幼小連携連携による系統づけられた教育カリキュラムの編成・実践	教委	幼・小／教委	4～7	幼小連絡協議会開催3回／年 カリキュラムの評価・改善
			子育て世代包括支援センター運営事業 親子の居場所事業、子育て講座の実施	村	村	4～7	一人を大切にするネットワークの構築
	② 学校教育	幼小中連携教育の推進を図る	幼小中連携教育推進事業 幼小中連携教育の推進	教委		4～7	学習意欲の向上・自尊感情の向上・体力運動能力の向上
			学校教育環境の整備充実 学習環境の、教材教具、図書、ICT機器の整備充実	教委	教委	4～7	多様な学びの機会の確保・教師の指導力向上
			学校運営協議会(コミュニティスクール)の展開 学校・地域・行政が連携・協働して子どもたちを育む仕組みの構築	教委	学校／地域／教委	4～7	学校運営協議会の開催 3回／年(計画・実施・評価・改善)
(2) 青少年の健全育成	① 青少年の健全育成	社会性をはぐくむ体験的な活動を充実させる	村民研修事業の実施 深谷市との小学生交流、中高生の異文化交流研修	教委	教委	4～7	小学生交流事業 1回／年 異文化交流事業 1回／年
			教育振興運動の推進 学校を中心とした地域住民との連携・協働、教育のつどいの開催	教委	教委／各実践区	4～7	教育振興運動協議会の開催 1回／年 教育のつどい 1回／年
			情報機器モラル教育の推進 適正な利活用のモラル教育の実施	教委	教委／小・中	4～7	情報機器モラル教育の実施 1回／年

(3) 生涯学 習・ス ポーツ 活動	① 生涯学習	村民ニーズ に対応した 生涯学習活 動を支援す る	生涯学習活動の推進 各種生涯学習講座等 の開催（自主活動支援 も含む）	教委	自主サ ークル ／教委	4～7	生涯学習講座 8回／年（趣味 教養講座） 自主サークル 数 15 団体（Ⅰ 種 5・Ⅱ種 10）
			村民文化展の開催 自主学習サークルの 発表機会、村民の文化 への啓発	教委	教委／ 自主学 習サー クル	4～7	村民文化展の 開催 1回／年
			読書活動の推進 アズビィ図書館の管 理・図書の充実	教委	教委	4～7	アズビィ図書 館利用者 5,000人／年
	② スポーツ 活動	生涯スポ ーツを推進し、 健康の維持 増進を図る	生涯スポーツの推進 マレットゴルフの普 及、ウォーキングの推 奨	教委	教委／ 競技団 体	4～7	マレットゴル フ場年間利用 者数3,000人／ 年（観光とのコ ラボの模索）
(4) 芸術・ 文化	① 芸術・文 化	芸術・文化に 親しめる機 会を提供す る	伝統芸能伝承の推進 伝承保存活動の支 援、各種発表会の開催	教委	教委／ 郷土芸 能団体	4～7	芸能フェステ ィバル開催支 援隔年1回／年 （観光・産業と のコラボ企画 の模索）
			舞台芸術鑑賞の推進 優れた芸術文化を鑑 賞する機会の創出	教委	教委	4～7	青少年劇場の 開催 1回／年
			民俗資料館の史料整備 の推進 民俗資料館の史料整 備の推進	教委	教委	4～7	民俗資料館年 間利用者数 1,000人／年 （観光とのコ ラボの模索）
			文化財の調査・保存・ 伝承の推進 希少動植物、自然遺 産、天然記念物の学習 の機会の創出	教委	教委	4～7	希少生物の観 察会の実施 3回／年
			希少動植物の保護活動 希少動植物の保護活 動を支援（チョウセン アカシジミ、シロバナ シャクナゲ、イワタバ コ）	教委	教委	4～7	生息域・繁殖地 調査実施 1回／年 希少動植物の 保護観察員の 確保

4 令和7年度 学校教育の具体的施策

重点事項 4-1	学習指導要領の趣旨を踏まえ、地域の実態に合わせた学校経営とまなびフェストを活用した学校評価の工夫・改善（数値目標の確認）
重点事項 4-2	一人一人を大切にした教育活動の展開
重点事項 4-3	小中連携教育の一層の充実
重点事項 4-4	学習と部活動（スポーツ少年団）のバランスのとれた活動（勝利主義ではなく人間教育）
重点事項 4-5	授業の充実（ICTの効果的な活用）と家庭との連携による自律的な学習習慣の育成

学校教育 重点事項 4- 1

重点事項
学習指導要領の趣旨を踏まえ、地域の実態に合わせた学校経営とまなびフェストを活用した学校評価の工夫・改善（数値目標の確認）
施策
・ 目指す目標やビジョンについての家庭・地域との共有（まなびフェストの活用） ・ 教育振興運動と連携した「コミュニティ・スクール」の推進
具体的施策
(1) 家庭・地域と協働する目標達成型の学校経営の充実（質的な向上） ・ 教育振興運動と連携した「コミュニティ・スクール」の推進 ◆たのはたコミュニティ・スクール◆ 『小中一体型の学校運営協議会。学校・家庭・地域・行政が協働し、「活動の見える化」「役割の明確化」を推進』 ・ 復興教育の視点に基づいた教育内容の見直しと復興教育の位置付け ・ 学校評価の実施と積極的な情報発信 ・ 主要項目に係る具体的な目標設定（学びフェスト）と家庭・地域への周知 (2) 豊かな心と力強く生きる心を育てる道德教育の推進 ・ 「道德の時間」を要とした豊かな心を育む道德教育の充実 → 先人に学び、夢と希望を持ち、たくましく生きる力 → 生命を尊び、自分や自分を取り巻く人々を大切にする心 → 郷土を愛し、人と社会のために役立つことを自ら進んで行う態度 ・ 道德科の授業の充実・改善、評価について共通理解を図る。 ・ 児童生徒の実態に沿った全体計画（別葉も含む）及び年間指導計画の見直し ・ 家庭や地域に向けた道德科授業の公開 (3) 社会性、自主性を育てる特別活動の充実 ・ 学校の実情や児童生徒の発達段階等に即した創意ある全体計画・指導計画の見直しと活用 (4) 総合的な学習の時間（問題解決型、探究型活動）の充実 ・ 小中連携に基づいた全体計画・指導計画 ・ 各種体験活動を取り入れるとともに、多様な学習形態と地域との協働の工夫 ・ 全教職員の共通理解と学校の教育活動全体を通じた組織的・計画的な取り組み (5) 郷土に愛着を感じ、大切にする児童生徒の育成（地域学校協働活動の推進） ・ 地域教材の開発、教育課程への位置づけ（体験活動） ・ 地域の人材を活用した教育活動の推進 ・ 郷土の伝統芸能の継承と伝統を尊重する心の育成 (6) キャリア教育の充実 ・ 小中連携に基づいた全体計画・指導計画の見直しと活用

・社会人・職業人としての資質・能力・態度を高める指導の充実（講演会等） ・各教科や領域等との関連と継続的、計画的なキャリア教育の実施 ・キャリアパスポートの活用
(7)家庭、地域との連携を図った体力づくり、食育・健康教育の推進 ・児童生徒の心身の発達や運動能力の実態を把握し、指導に生かす取組 ・食育に関わる全体計画及び年間指導計画をもとにした、計画的・継続的な指導 ・家庭・地域との連携を密にした、健康教育の推進
(8)特別支援教育体制の充実 ・特別支援学級経営計画の作成とインクルーシブ教育の実践 ・「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」の作成・活用、保護者との共通理解 ・引継ぎシート（PASS）の活用 ・宮古恵風支援学校・特別支援教育エリアコーディネーターとの連携 ・ことばの教室の計画的な運営、指導の充実
(9)校舎内外における学習環境・生活環境の計画的な整備
(10)こ小連携の推進 ・「田野畑村接続期カリキュラム」をもとに開発した「田野畑村（こ小）架け橋カリキュラム」の実践と、幼児教育～義務教育への接続の充実 ・こ小連携協議会の開催、情報共有

学校教育 重点事項 4- 2

重点事項
一人一人を大切にした教育活動の展開
施策
・ 児童生徒の心のケアに配慮し、教育活動全体を通じて、温かい人間関係の構築に努める。 ・ 不登校児童生徒の心に寄り添い、組織的な対応を行う。 ・ いじめの未然防止と発生時の適切な対応（学校いじめ防止基本方針の共通理解） ・ 校内教育支援センター運営の充実 ・ 特別な配慮を必要とする児童生徒への適切な指導・支援
具体的施策
(1) 安心して生活できる学校・学級環境の整備 ・ 学級・学年経営の充実 → 児童生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる居場所づくり（校内教育支援センターの活用） → 児童生徒が主体的に取り組む活動を通して、お互いの考えや思いが共有され価値観を高められる絆づくり（教科、領域、学校行事、部活動とも連動して） ・ 業間時間や昼休み時間を有効に活用した校内巡視や対話活動 ・ Q－U検査（年間2回実施）の分析・活用（気になる児童生徒へのチーム支援）
(2) 児童生徒理解の充実と心のサポート授業の実施 ・ 震災による反応、学校不適応児童生徒への組織的な対応 → 組織による適切なアセスメントと見通し（目標）を共通理解した指導 → 「心とからだの健康観察」の分析・活用、SOS の出し方・受け止め方に関する教育の充実、児童生徒の生命尊重ポスターの活用 → 保護者・家庭との連携と十分な共通理解（子供の変容や指導・支援の在り方） → スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関との連携 ・ 生徒指導への組織的な対応の充実（いじめ・問題行動等） → 生徒指導の4つの視点を活かした発達指示的生徒指導及び課題未然防止教育（個々の存在感や活躍の場の設定） → 日常的観察による情報の共有、計画的な教育相談とアンケートの実施 → 「学校いじめ防止基本方針」の共通理解と学校の実情に合わせ見直しを図る ※年度当初に保護者に説明
(3) 防災教育の充実 ・ 復興教育を柱にした防災教育（自分の命を守る、他者を助ける、震災を伝える） → 主体的に判断できる力の育成 → 学校、保護者、地域との連携

(4) 情報モラル教育の充実

- ・ 児童生徒と保護者両方への啓発 ※関係機関（警察等との連携）
- ・ 教員研修の充実（児童生徒・教師の ICT 活用能力の育成）、ICT 支援員の活用

学校教育 重点事項 4- 3

重点事項
小中連携教育の一層の充実
施策
・ 学びの連続性を重視した教育の研究と実践 ・ 田野畑村の「ひと・もの・こと」から学ぶ「田野畑学」の展開
具体的施策
(1)「田野畑学」による 9 年間を見通した人づくり ・ 小中 9 年間を通して育成する児童生徒の目指す姿の共有
(2)学力の基盤となる「読解力」の向上 ・ 新聞記事を教材としたワークシートを使い、児童生徒一人一人の読解力（読み解く力）の向上を図る
(3)教科学習における小中のスムーズな接続 ・ 共通視点による授業づくり ・ 効果的な接続のためのカリキュラム開発
(4)小学校における算数、中学校における数学教育の連携と推進
(5)小学校における外国語活動、外国語、中学校における外国語教育の連携と推進 ・ 小中連携と A L T の効果的な活用

学校教育 重点事項 4- 4

重点事項
学習と部活動（スポーツ少年団）のバランスのとれた活動（勝利主義ではなく人間教育）
施策
・ 体力向上を図る取組の充実 ・ 地域と連携した放課後活動の充実
具体的施策
(1) 放課後活動の在り方について再確認（指導の在り方について説明） ・ ねらい、活動時間、部活動指導員等との関わり（限られた時間での効果的な指導） ・ 地域と連携した放課後活動の在り方の検討
(2) 部活動と家庭学習の両立 ・ 時間のマネジメント、帰宅後の学習の仕方に関する支援（授業との連動）
(3) 体力の向上を図る取組の充実 ・ 学校体制での継続的な取組。望ましい運動習慣の確立（60 プラスプロジェクトの推進）

学校教育 重点事項 4- 5

重点事項
授業の充実（ICT の効果的な活用）と家庭との連携による自律的な学習習慣の育成
施策
・「確かな学力育成プラン」について共通理解を図り、組織的に学力向上に向けた取組を行う。 ・ICT を効果的に活用した授業づくりの推進 ・児童生徒一人一人の読解力（読み解く力）の向上 ・家庭学習の充実（授業との連動）
具体的施策
(1) 育成すべき資質能力と児童生徒の発達段階を考慮した授業づくりと実践 ・「確かな学力育成プラン」を活用した指導の重点の共通理解。組織的な取組の充実 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現 ・各教科等の「見方・考え方」に留意した指導 ・個に配慮したきめ細かな指導（つまずきの見られる児童生徒と発展的な学習ができる児童生徒への配慮） ・学ぶ必然性を大切にし、「分かった」「できた」を実感できる授業。主体的に学ぶ意欲を育てる授業づくり ・家庭学習の充実 → 授業と連動した家庭学習 ・各学校における家庭学習の方法について保護者への周知。学習者用デジタル教科書等 ICT の積極的な活用
(2) 基礎学力の向上 ・諸調査の分析結果等を活用し、学校全体で重点として継続的に取り組む ・ICT を効果的に活用した授業づくりの推進 ・児童生徒一人一人の読解力（読み解く力）の向上
(3) 各種調査（全国学調・県学調、村標準学力調査）の結果分析による学習状況の把握と授業改善
(4) 校内授業研究会の充実（校内研究会への講師旅費の負担）
(5) 管内・管外学校公開、研修会等への参加奨励
(6) 総合教育センターにおける希望研修の参加奨励
(7) 県教委、総合教育センター、宮古教育事務所主催の事業との連携

5 令和7年度 社会教育の具体的施策

重点事項 5-1	生涯学習の基礎づくりの推進
重点事項 5-2	各年代に応じた生涯学習の推進
重点事項 5-3	健康づくりと生涯スポーツの推進
重点事項 5-4	郷土の歴史、文化を学ぶ生涯学習の推進

社会教育 重点事項 5-1

重点事項
生涯学習の基礎づくりの推進

(1) 家庭教育の充実

- ・時代の変化に対応した家庭教育に関する学習機会の提供に係る支援

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	家庭教育学級（子育て世代包括支援センター）	5月～2月 児童福祉施設 小・中学校	子どもの成長段階に応じた講演会や実習を開催
②	家庭教育学級（たのはたこども園）		
③	家庭教育学級（小学校）		
④	家庭教育学級（中学校）		
⑤	親子家庭教育学級	年2回 アズビィ	乳幼児期から思春期の子どもを持つ全家庭を対象に、親子で学ぶ講座を開催

(2) 地域・学校・家庭の連携

- ・PTA活動の充実と地域住民の協力により、地域・学校・家庭の一層の連携を図る。
- ・地域に伝わる伝統行事や郷土芸能の伝承に努め、郷土への理解と愛着を深める。

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	地域学校協働活動推進事業	4月～3月 アズビィ	・地域学校協働活動推進員配置 ・ボランティアを活用し、学校の要請に応じた支援を行う。（学習支援、体験学習、環境整備等）

(3) 青少年の健全育成

- ・地域・学校・家庭の連携により、青少年の健全育成を図る。
- ・自然との触れ合いを通して、郷土に愛着を持つ人間性の形成に努める。

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	コミュニティ・スクールの推進	年2回	学校運営協議会の開催
②	教育振興運動の推進	通年 6地区	・地域の文化や産業等を生かした体験活動（郷土芸能の伝承、地域交流活動等） ・全県共通課題の取組…情報メディアとの上手な付き合い方
③	（仮称）田野畑村教育フォーラム	未定	開催方法等を検討中

社会教育 重点事項 5-2

重点項目
各年代に応じた生涯学習の推進

(1) 高齢化社会と生涯学習

- ・高齢者を対象とした学習機会の提供

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	いきいきライフ	5月～12月 年2回程度	高齢者向けの講座開催

(2) 余暇を生かした生涯学習

- ・年代に応じた学習機会の提供
- ・有意義に余暇を活用できる学習の場の提供

「青少年教育」関係事業

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	たのはたっ子わんぱくランド	5月～3月 年2回程度	児童向けの体験、モノづくり体験講座の開催
②	星空観察会	年1回	月や星座の観察会
③	自然観察会	年2回	・チョウセンアカシジミ観察会 ・ヒメボタル観察会
④	地球市民プログラム	通年	多文化共生や、国際教育、地域魅力化・活性化などにつながる講座の開催

「成人教育」関係事業

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	趣味教養講座	5月～1月	学習ニーズに応じた各種講座の開催
②	田野畑村20歳の集い	8月中旬 ホテル羅賀荘	式典、はたちの船等
④	地球市民プログラム【再掲】	通 年	多文化共生や、国際教育、地域魅力化・活性化などにつながる講座の開催

(3) 交流活動の推進

- ・友好都市である埼玉県深谷市との交流活動の推進を図る。
- ・早稲田大学「思惟の森の会」との交流促進を図る。
- ・米国アーラム大学との交流促進を図る。

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	深谷市・田野畑村小学生交流事業	7月29日～ 8月1日 田野畑村	友好都市である埼玉県深谷市小学生と田野畑村小学生との体験・交流事業
②	早稲田大学思惟の森の会の合宿	随時 青鹿寮等	村民との交流活動

③	たのはた国際交流キャンプ	8月下旬 村内	米国アールム大学学生、早稲田大学思惟の森の会と小中学生との交流事業
④	わたしの主張下北大会	9月1日 岩泉中	時代を担う中学生の意見、希望等の表現の場を提供し、地域社会とのつながりについて考え、行動する契機にする
⑤	田野畑村中学生海外派遣研修代替事業	3月20日 ～23日 福島県	体験型語学研修施設での宿泊研修
⑥	いわて希望塾への派遣	11月 県立施設	中学生が沿岸地域での体験活動や市町村の枠を超えた交流活動、復興について学ぶ

(4) サークル活動・団体活動の推進			
・講師謝金の助成、社会教育施設使用料の減額により自主サークルの育成を図る。 ・サークル又は団体が行う研修に要する経費の一部を助成し、自主的な活動の推進を図る。			
No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	サークル育成支援事業	4月～3月	・Ⅰ種…講師謝金補助（上限：3万円）、施設使用料の減額（1/2） ・Ⅱ種…施設の使用料の減額（1/2）
②	田野畑村女性団体協議会活動の支援	通 年	女性団体協議会運営支援

(5) 読書活動の推進			
・図書資料の充実に努め、幅広く読書の推進を図る。			
No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	図書室の運営	通年	・一般村民への図書の貸し出し ・開館時間は8:30～17:15 ・休館日…年末年始
②	図書資料の整備と充実	通年	・図書、視聴覚資料の購入 ・県立図書館から図書借受 ・図書の登録と分類 ・大学生による図書室ボランティア
③	移動図書館車の運行	通 年	移動図書館車の更新に併せ、巡回内容の変更を検討
④	図書の利用促進	通年	・こどもコーナーの設置等 ・読書週間に呼応した企画展示等
⑤	利用者サービス体制の充実	通年	リクエスト図書の相互貸借等
⑥	子ども読書活動の推進	通年	読み聞かせボランティア、地域学校協働活動推進事業と連携

(6)伝統を生かした地域活動			
・全村1校の視野に立ちながら、各地域の伝統を生かした活動に取り組む。 ・地域・学校・家庭が連携し、児童・生徒の健全育成に努める。			
No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	教育振興運動の推進【再掲】	通年 6地区	地域の文化や産業等を生かした体験活動、郷土芸能の伝承、地域交流活動等
②	地域塾	7月～1月 田野畑村内	地域の人材を講師に迎え、体験活動等を行う活動への支援

(7)教育フォーラムの開催【再掲】			
No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	(仮称) 田野畑村教育フォーラム	未定	開催方法等を検討中

社会教育 重点事項 5-3

重点項目
健康づくりと生涯スポーツ

(1) 生涯スポーツの振興の推進

- ・村民スポーツであるマレットゴルフの普及に努める。
- ・各世代に応じたスポーツの振興を図る。

生涯スポーツの振興

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	マレットゴルフ場	4～12月	マレットゴルフの普及
②	田野畑村民体育館	通年	スポーツ少年団、サークル活動などによる生涯スポーツの普及
③	田野畑村営野球場	通年	スポーツ少年団（野球）などによる生涯スポーツの普及

スポーツイベントの開催

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	第50回駅伝競走大会	10月中旬 村内コース	主催：田野畑村体育協会
②	県民体育大会出場支援	6～8月	団体・個人の参加奨励・支援
③	体力・運動能力調査：県標本割当分	4～10月 アズビィ	特定年齢層の基本データ測定

(2) スポーツの推進

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	スポーツ推進委員の配置	通年	スポーツ推進の指導助言
②	各種研修会への参加	通年	管内研修会等
③	いわてスポーツコミッション加盟	通年	県との連携
④	学校施設開放事業	通年	田野畑小、田野畑中

社会教育 重点事項 5-4

重点項目
郷土の歴史、文化を学ぶ生涯学習の推進

(1) 芸術鑑賞機会の提供

- ・青少年や村民に優れた芸術を鑑賞させる機会の提供を行う。
- ・創作活動の発表機会を設け、村民の芸術文化活動の振興を図る。

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	青少年劇場	5月29日 田野畑小	・内容…音楽劇 ・対象…小・中学生
②	第52回田野畑村民文化展	11月1日～ 4日 アズビィ	小中学生、一般村民の作品展示

(2) 芸術活動の支援

- ・村民の芸術活動の推進を図るため、村芸術文化協会の活動に対して支援を行う。

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	田野畑村芸術文化協会への支援	通年	村芸術文化協会の活動支援
②	三陸国際芸術祭の支援	通年	三陸国際芸術推進委員会加盟

(3) 郷土の歴史などを学ぶ会への支援

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	郷土の歴史などを学ぶ会への支援	通年	・活動場所、調査活動支援 ・調査結果の整理、集積

(4) 文化財の保護と活用

- ・指定文化財の保護に努め、観光資源としての活用を図る。

有形文化財の保護・活用

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	【村】遮光器土偶	随時	研究・貸出展示対応
②	【県】安堵状・保管箱	通年	保管・活用体制の整備（補助事業検討）

民俗文化財の保護・活用

No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	【村】甲地鹿踊	通年	各保存会に対する活動費補助
②	【県】菅窪鹿踊・剣舞		
③	【県】大宮神楽		

記念物の保護・活用			
No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	【県】 館石野Ⅰ遺跡	随時	パトロール調査（現地確認・草刈等）
②	【村】 チョウセンアカシジミ		保護活動・保護団体育成・自然観察会（活動支援・連携・地域人材育成）
③	【県】 田野畑シロバナシャクナゲ群落		パトロール調査(生息確認、違法採取の有無)
④	【県】 田野畑の白亜紀化石産地		パトロール調査(分布確認、違法採取の有無)、ジオ事業との連携
⑤	【県】 イワタバコ北限自生地		パトロール調査(生息確認、違法採取の有無)
⑥	【国】 ニホンカモシカ		滅失処理・研究依頼対応（生息範囲等）
⑦	県文化財パトロールとの連携		岩手県文化財保護指導員による保護管理の実態把握と指導・助言
一般文化財の整備保護			
No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	調査保護活動 （文化財保存活用地域計画資料の整備）	随時	指定されていない一般文化財等を調査することにより、特に保護すべき対象となる文化財を把握する。また、対象外の文化財も出来る限り保護活用する方法を検討する。
埋蔵文化財の保護			
No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	埋蔵文化財調査	随時	開発計画により破壊される遺跡を把握し、保護等の調整を行う。

(5) 田野畑村民俗資料館の充実と活用			
・資料館の充実と活用に努める。 ・民俗資料館の充実、三閉伊一揆関連の資料収集			
No.	事業名	月日・場所	要旨・内容等
①	民俗資料館の運営	通年	・三閉伊一揆関係の調査 ・資料の整備と収集、常設展示の充実
②	広報活動の実施、入館者の拡充	通年	パンフレットの配架、ポスターの掲示（村内主要施設）